

ワークライフバランス・福利厚生

財務省税関においては、職員が仕事と子育てを両立し、ワークライフバランスを実現するための各種支援制度が整備されています。また、子育てに奮闘する職員から、制度を活用した経験について紹介します。

勤務条件・福利厚生等

初任給

- 学部卒（大卒程度試験） 232,840円
  - 大学院卒（大卒程度試験） 260,080円
  - 大学院卒（院卒程度試験） 264,400円
- 地域手当及び本府省業務調整手当を含む。 ※令和3年4月実績

諸手当

扶養手当、通勤手当、超過勤務手当、期末手当・勤勉手当（ボーナス）、住居手当、地域手当、本府省業務調整手当 等

勤務時間

- 7時間45分／日（38時間45分／週）
- ※フレックスタイム制の利用可

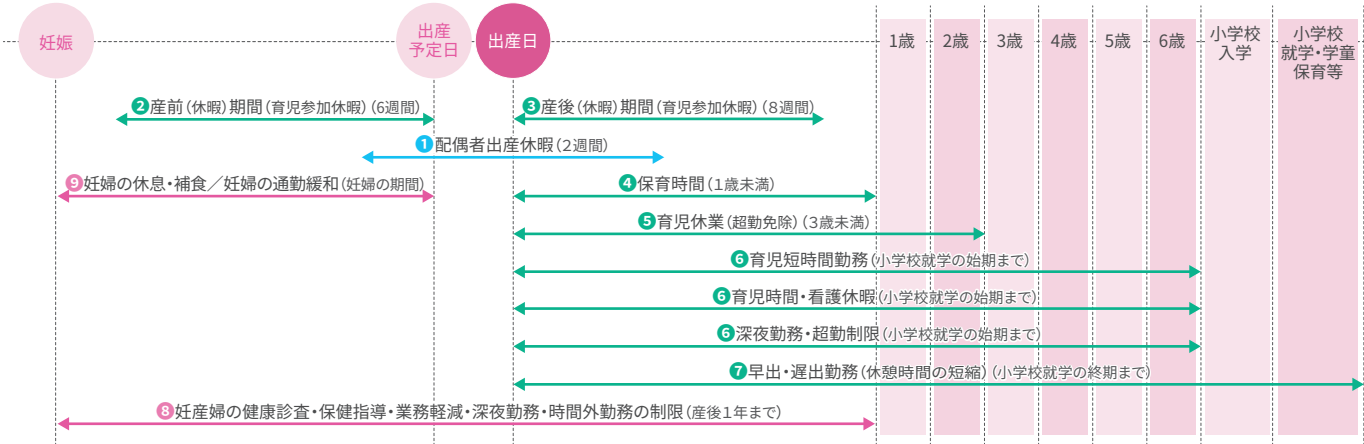
休日休暇

- 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
- 年次休暇（年20日、採用の年は15日）
- 夏季休暇、結婚休暇、忌引休暇 等

福利厚生

診療所／各種共済制度（医療給付、出産等に伴う手当金の給付、育英資金や住宅資金の貸付事業、年金事業、宿泊施設 等）

仕事と子育ての両立支援



対象男女	No.	両立支援制度	取得可能期間
●	①	配偶者出産休暇	入院等の日から出産の日後2週間（2日の範囲内）
●	②③	男性育児参加休暇	産前6週間（多胎妊娠は14週間）、産後8週間までの期間のうち5日の範囲内 ※産前期間は小学校未就学の子を養育する場合に限る
●	②③	産前・産後休暇	産前6週間（多胎妊娠は14週間）、産後8週間までの期間
●	⑧	妊産婦の健康診査・保健指導	生後1年に達しない期間
●	⑧	妊産婦の業務軽減	生後1年に達しない期間
●	⑧	妊産婦の深夜勤務・時間外勤務の制限	生後1年に達しない期間
●	⑨	妊婦の休息・補食	妊婦の期間
●	⑨	妊婦の通勤緩和	妊婦の期間

対象男女	No.	両立支援制度	取得可能期間
●●	③④	保育時間	生後1年に達しない期間
●●	⑤	育児休業	子が3歳に達するまでの期間
●●	⑤	超過勤務免除	子が3歳に達するまでの期間
●●	⑥	育児時間	小学校就学の始期に達するまでの期間
●●	⑥	育児短時間勤務	小学校就学の始期に達するまでの期間
●●	⑥	深夜勤務・超過勤務制限	小学校就学の始期に達するまでの期間
●●	⑥	子の看護休暇	小学校就学の始期に達するまでの期間（年5日の範囲内） ※対象となる子が2人以上の場合は年10日
●●	⑦	早出・遅出勤務	小学校就学の終期までの期間 ※小学校に就学している子については、放課後児童クラブ等に通う子を迎え又は送りに行く場合に限る
●●	⑦	休憩時間の短縮	小学校就学の終期までの期間 ※小学校に就学している子については、子の送迎のため住居以外の場所へ赴く場合に限る

育休取得経験者・取得中の職員



小松 史人

KOMATSU Fumito  
関税局税関調査室  
鑑査専門官  
平成28年度入省



ワークライフ  
バランス

現在、私は財務省の建物の中にある認可保育園「財務省 ちのこ保育園」を利用し、妻と分担しながら娘の送り迎えをしています。利用を開始してから一年近く経ちますが、すぐに駆け付けられる場所に保育園があることで、安心して仕事に取り組みしていると実感しています。

ただ、延長保育にも対応してはもらえるものの、基本的には送り迎えの時間は決まっているため、子供が生まれる前と比べ、仕事の効率をより意識する必要が出てきました。まだ戸惑うことの方が多く、周りに迷惑をかけることもしばしばですが、現在の職場は育児に対して理解があり、とても助けられている毎日です。

そのように周りの協力も得ながら、育児に積極的

娘とともに日々成長

ワークライフバランスの在り方は、人それぞれで異なりますが、一個人の中でも、ライフステージによって大きく変化することになると思います。

私の場合は、娘が生まれ、育児が「ライフ」の中心になりました。

に参加し、娘の成長を間近で見守っていると、自分自身も成長しなければ、と奮い立たされます。

また、育児にかかる様々な苦労を経験することは、似たような事情を抱える職員を理解する助けにもなると考えています。

最近では、男性職員も1か月以上の育児休暇・休業の取得が促進されるなど、男性も育児を通じて「ライフ」を充実させることができる環境・制度が整備・拡充されてきました。

男性の育児参加は、女性の職場復帰を後押しすることにつながるため、家族を持つ職員の働く環境は年々良くなってきているように思います。

皆さんも、財務省税関で、理想とするワークライフバランスを実現してみませんか？



子供の成長を見守る貴重な時間



川口 彩奈

KAWAGUCHI Ayana  
東京税関調査部  
国際情報センター室調査官  
（育休取得中）  
平成23年度入省

ワークライフ  
バランス  
育休取得中

現在、約一年半の産後休暇・育児休業を取得させていただいています。

私は妊娠中、つわりが比較的重かったのですが、上司の方々が配慮して下さり、産前の体調管理をサポートするための制度やテレワークを活用しながら業務に取り組み、無事出産を迎えることができました。

一歳半になった子供は、夜明けと共に元気いっぱい遊び始め、私が朝の離乳食作り等を行う間は出勤前の夫に遊び相手をしてもらっています。

コロナ禍で遊べる場所は限られていますが、日中は近所の公園で思い切り走り回ったり、児童館で同年代のお友達と一緒に工作をしたり、図書館で絵本の読み聞かせをしてもらったりと、なるべく色々な経験ができるように心がけています。

家の中でも、お昼寝の時間以外は休む間もなくブロック遊びやおままごとで夢中になっている子供の相手をしているうちに、あっという間に一日が過ぎてしましますが、こうして毎日育児に専念して日々の成長を間近で見守ることができ感謝しています。

育児休業からの復職後は、育児と仕事を両立していくことになります。

省庁には育児支援に関する様々な制度があり、テレワークやフレックスタイム等の活用も進んでおり、財務省税関でも子育てをしながら働く女性職員が増えてきています。

子供が小さいうちはまだまだ周りの方に迷惑をかけながら働くことになってしまうかと思いますが、ゆくゆくはフォローする側に回り、子育ての経験を踏まえて職員の多様な働き方を後押しする環境作りに貢献していきたいです。

